

【氏名】 于 曉輝

【所属大学院】(助成決定時)

東京学芸大学

【研究題目】

中国に適合した自閉症児の早期診断と発達支援システムの開発に関する研究

【研究の目的】

中国においては、自閉症児の最初の症例報告(陶,1982)がなされてからわずか 20 数年である。1980~1990 年代、中国の児童精神医学や特殊教育の専門家は自閉症への認識が乏しく、自閉症は「精神遅滞」または「児童精神病」のカテゴリーに属された。近年、北京市自閉症協会や中国最初の民間自閉症児療育施設である北京星星雨教育研究所の設置によって、ようやく自閉症への治療、研究や教育の対応についての関心が高まりつつある状況である。しかし自閉症は依然として公的に障害と認定されず、その医療、療育・保育、教育、福祉等の行政施策はほとんど未着手の状況である(呂:2004・2006,呂・高橋:2005)。

そこで本研究では、日本の自閉症の早期診断システムと早期療育方法をベースにしなが、中国の自閉症児の保護者、医師、療育施設職員とのニーズに関する実態調査を実施し、中国の現状に適合した自閉症の早期診断システムを開発すること、および自閉症の早期療育にかかわる病院と療育機関の連携・協働のあり方について検討することである。

【研究の内容・方法】

本研究においては、中国に適合した自閉症の早期診断システムの開発では具体的に以下の研究作業に取り組む。

調査者が約一月半中国に滞在し①改訂小児行動質問紙に見る中国と日本における自閉症圏障害の子ども症状の比較、②中国遼寧省の医療機関における自閉症の診断治療の実態調査、③中国の医療機関の自閉症診断治療に対する保護者のニーズ、④中国語版 M-CHAT(the Modified Checklist for Autism in Toddlers)の標準化ための予備調査、⑤自閉症の早期診断と早期療育の連携システムの検討などの諸調査に取り組む。

- ① については、中国では自閉症の行動障害の特徴に関する研究がほとんどない。そこで自閉症児の親を対象に改訂小児行動質問票を用いて、中国と日本の幼児期の自閉症児の比較検討を行い、中国の自閉症児の行動障害の特徴を明らかにするとともに、その症状に影響する要因を検討することを目的とした。自閉症の症状に関する二国間の相異を明らかにすることは、中国に適合した自閉症児の早期発見システムおよび早期療育プログラムを開発していく際の基礎データを得ることができると考える。
- ② については、中国における自閉症の診断治療の実態を把握する目的で、中国遼寧省の3

都市の6カ所の医療機関に約 200 の質問紙を送付し、小児科医・精神科医などを対象に自閉症に関する知識・理解、診断基準・検査内容、治療・療育などについて回答を求める調査を行った。

- ③ については、医療機関における自閉症の診断治療に対する保護者のニーズを明らかにするために、中国の民間自閉症児療育施設で療育を受ける自閉症圏障害児の約 100 名の保護者を対象に面接調査を行った。
- ④ については、中国における自閉症の早期診断の確立に向けて、欧米で高く評価されている乳幼児チェックリスト M-CHAT を取り上げて、中国での標準化のための予備的研究を行う。またあわせて自閉症の療育のために開発された Piaget の発達段階を軸に認知構造の発達を見る太田 Stage を取り上げて、中国での適用性を検討した。

【結論・考察】

日中の自閉症の比較研究を通して中国の自閉症児の早期徴候が多様・強烈であり、社会適応上の困難が多いという特徴が示された。こういう症状の現れ方には、中国における自閉症に対する療育体制、早期診断・発見および早期対応のシステムが全く未整備であることのほかに、社会の慣習や親の価値観などの社会・文化・歴史的要因が関与している可能性が示唆された。

自閉症にかかわる多くの医師・療育職員が十分な専門知識を有しておらず、自閉症は中枢神経系の生物学的障害であるにもかかわらず相変わらず心因的な誤った理解がなされていることが明らかになった。自閉症への早期診断・発見のニーズにおいては、医師・療育職員・保護者の三者が社会的理解と行政施策を強く求めているとともに、現有しながらも十分に機能していない母子保健体制の充実を要求していることが明らかになった。また保護者は医師と療育職員の専門性の向上へのニーズも強かった。

また、以上の結果にもとづいて、日本で高く評価されている太田ステージ、M-CHAT を取り上げて、双方の中国における適用性について調査検討した。太田ステージは簡便で、実施しやすいところからみると、自閉症の早期発見から早期療育が始まるまでの時期、および早期療育において役立つと推定される。M-CHAT は自閉症の早期発見において有用であることが示唆された。

以上の結果から、中国における自閉症にかかわる専門家の専門性の低さと社会的対応が欠けていることが示されたが、そのなかで閉症の保護者は、早期診断・発見への強いニーズと医師・療育職員の専門性の向上を求めている。